

町民アンケートの結果を報告します

みなさんのご協力ありがとうございました。



東日本大震災

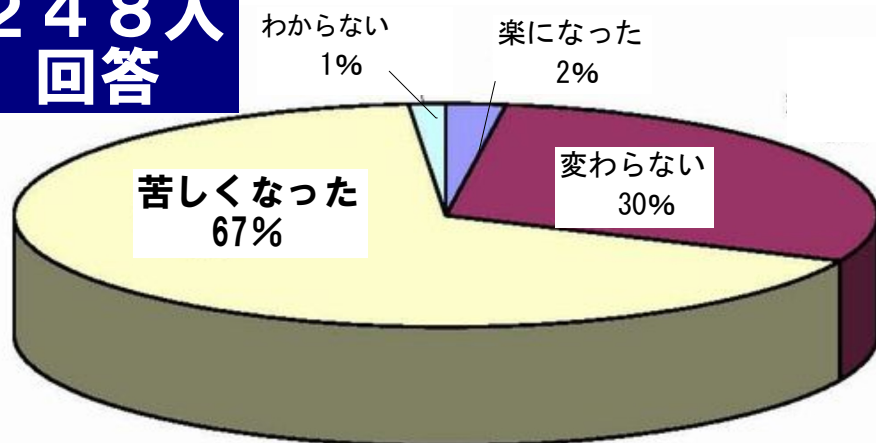
被災者の皆様
心からお見舞い申し上げます。

昨年12月から今年1月まで実施した「町民アンケート」の結果を報告致します。また、全町内への報告が遅れたことにお詫びします。

町民のみなさんからは、暮らし、福祉、環境など要望が248通も寄せられ、「すぐに実現してほしい」など日本共産党への期待の声も届きました。みなさんの期待にこたえるため、全力でがんばります。

町民の約7割が「生活が苦しくなった」と回答

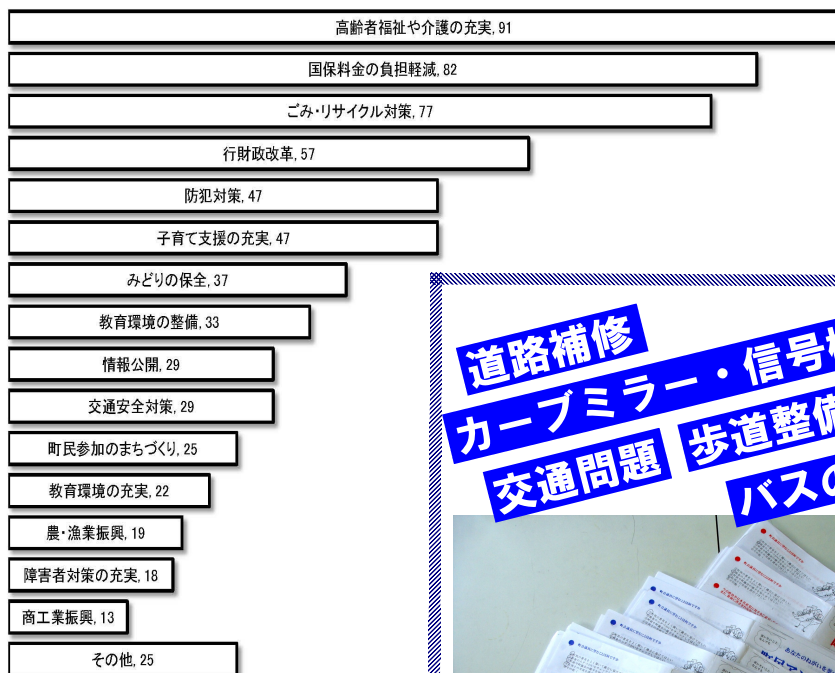
248人
回答



景気低迷、リストラや雇用の悪化、税金や医療費の負担増など、町民の生活を直撃し、約7割の方が「生活が苦しくなっている」と回答。深刻な状況を表わしています。さらに3月11日の東日本大震災による大きな影響がさけられません。

アンケートでは、今の政治に怒り、大変厳しいご意見も寄せられています。日本共産党は、町民のくらし優先の町政をめざします。

葉山町政に優先的に取り組んでほしい施策



ベスト5

【複数回答】

- | | |
|----|---------------|
| 1位 | 高齢者福祉や介護制度の充実 |
| 2位 | 国保料の負担軽減 |
| 3位 | ごみリサイクル対策 |
| 4位 | 行財政改革の推進 |
| 5位 | 防犯対策 |
| 5位 | 子育て支援の充実 |

道路補修
カーブミラー・信号機設置
交通問題
歩道整備
バスの運行

図入りで要望意見が余白も使い書かれていました。みなさんの声をしっかりと受け止め、その実現を図っていきます。



アンケートに回答された半数以上の方からは、具体的な要望も寄せられ、記入欄に図を書き入れ、様々な要望・意見が寄せられました。現場を確認し、すでに町との交渉を始めている箇所もあります。但し、すぐに実現、解決できない問題もあって、粘り強く取り組んでいきたいと考えています。

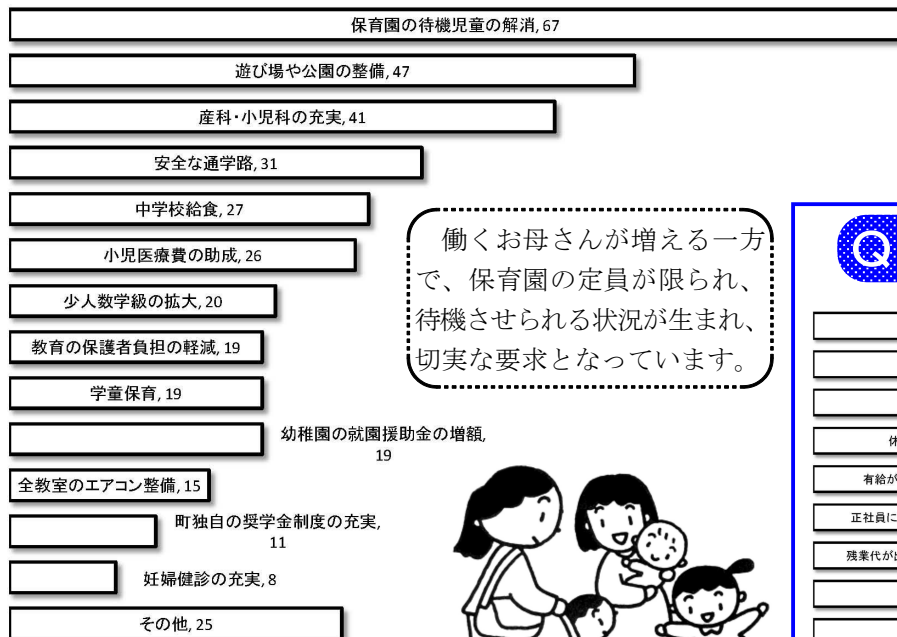


2011年3月号外 日本共産党葉山支部
長柄799 TEL875-9619 FAX876-3235

日本共産党

Q子育て 教育の充実を

急がれる保育園 の待機児童解消



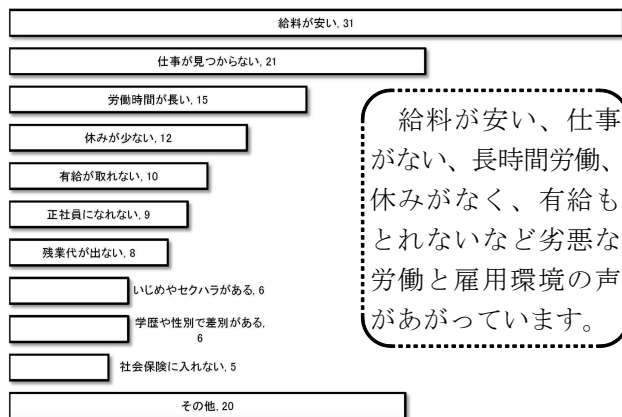
働くお母さんが増える一方で、保育園の定員が限られ、待機させられる状況が生まれ、切実な要求となっています。



Q暮らしと生活が 苦しくなった原因は？

苦しくなった原因は1番に税金等公的負担（64人）があげられ、次に「年金生活に入った」（49人）、医療費の支出増（48人）、「賃金カット」（37人）など実際に給料が減った方も多くいました。

Q仕事の悩み不安は？



給料が安い、仕事がない、長時間労働、休みがなく、有給もとれないなど劣悪な労働と雇用環境の声があがっています。

Q高齢者福祉・介護の充実

介護保険料・医療費の負担軽減を

介護保険（102人）と医療費（89人）の負担軽減を求める方が多く、次に待機者が153人もいる「特養ホーム増設」（75人）の切実な声があります。

Q後期高齢者医療制度？

廃止と見直しが75%を占める

制度の発足当初から高齢者への差別医療と批判が多いこともあって「廃止」（48人）、見直し（93人）、「このままでよい」（20人）、他（20人）でした。

Q安心・安全のまちづくり

生活道路・歩道整備、防犯灯など設置

身近な要求では、1番に「歩道や生活道路整備」（104人）、街路・防犯灯設置（74人）、空き巣対策（66人）などとなっています。

●「町民アンケート」の詳しい集計結果は、党議員団ブログで紹介しています。ぜひご覧ください。

Q町会議員に望むことは？

ムダ遣いチェック、町民の声を聞く

1番に「行政のムダ遣いチェック」（139人）、次に「町民の声をよく聞く」（107人）と続き、議会の本来の役割として行政監視が強く求められます。その他、ご意見には議員定数や議員活動への批判もあり、それらは真摯に受け止め、今後の議会改革に生かしていきます。

東日本大震災

被災者への救援募金と防災対策アンケートにみなさんのご協力をお願いします。

3月11日の東北地方太平洋沖大地震は、甚大な被害を生みました。日本共産党は救援募金活動を13日から始めました。JR逗子駅前や町内のスーパー前に立ち、多くの方から募金が寄せられました。その後、防災対策アンケートを取り組み、避難所、防災無線、計画停電など、これからの震災に強い葉山町をめざして活動を始めています。皆様のご協力とご支援をお願いします。



近藤昇一 町会議員



窪田美樹 党くらし相談員